

宗像市コミュニティ施策検証審議会（第10回）会議録

日 時	平成23年7月20日（水）13:00～
場 所	ゆうゆうぷらざ（2F 会議室）
出席者	<p>【会 長】 ■松永 年生</p> <p>【副会長】 ■塩川 雄二</p> <p>【委 員】 ■梶原 伊津子      ■権田 要助      ■十時 裕      ■東 博子</p> <p>          ■前田 誠            ■松山 道代      ■森 裕亮      ■山寄 直子</p> <p>【事務局】 ■福崎      ■石松      ■中村      ■樺島      ■本田      ■中野</p> <p>          ■花田      ■田村      □宮本      □上田      ■飛永</p>

1、前回会議録確認

会長；事前に配布できなかったため、この場で確認したいが、時間がないため、何か疑義・修正希望があれば事務局へ連絡することとする。

2、前回「コミュニティビジネス」のまとめについて説明。

下線部の追加。

○タイトルについて、「コミュニティビジネス」と「協働」を逆にした方がいいのではないか。コミュニティビジネスを行っているところはまだ少ない。協働とコミュニティビジネスのウエイトからして、逆の方がいい。全体をまとめる際に考えていただければよい。

⇒長いサブタイトルをどうするか。答申にサブタイトルを入れるかどうかも含めて考えたい。

3、答申案の審議

会長；今日は、答申案について議論する。また、今日のワークショップ審議会の意見をどう答申に反映していくか、ご意見をいただきたい。

答申の取りまとめについては、文書でやり取りをして、最終的に8月18日には、市長に全員で答申したい。（8/18、16:00～）

松山委員から、当初「範域」についての意見をいただいた。権田委員からは、前回、議会側への提案の必要性をいただいた。この2点についても議論していただきたい。

「7. 行政職員の意識改革」は審議事項全般に関わることであり、総論部分で扱い、各論部分には入れていない。

前文は、私の独断と偏見で書いたもの。しっかりと見ていただきたい。

○議会に対し、コミュニティ事業へ関わって欲しいという意見を伝えるべきだ。

○答申の中で、予算の拡充というものが出てくると思うが、最終的には、議会の承認が必要となる。そのためにも、議会に対しては、審議会の熱意を伝えることがあってもいいのかなと思う。

○議会の問題は、結構、微妙と感じる。以前調査したとき、「特定の議員に対して応援することはしないように」という取り決めがあったようだ。公的な政治家（議員）が、コミュニティに関わると、

集票マシンとしてコミュニティが利用される可能性がある。個人として、コミュニティに関わる方がいいのではないかと。触れるとしてもサラッと触れる程度がいいのではないかと。

副会長；南郷では、平成 20 年から運営委員に議員枠を設けた。以前は 3 人いたが、現在は 1 人。それまでの議会の中で、コミュニティを理解していない発言がみられたため、議員枠を設けた。事務局；自由ヶ丘では、市議校長懇談会を定期的に行っている。

○議会に対しては、さらっとした指摘がいい。

○指摘は必要だと思う。指摘方法には工夫が必要。

会長；審議会の趣旨からして、答申本体ではなく付言として、会長から口頭で伝えるのはどうか。ただ、伝える相手は、市長となる。

○文面でなくとも、口頭でもいい。

○正・副議長に対して、意見する方がいい。

会長；審議会の正・副会長で、議会の正・副議長に面会し、意見、懇談をしてくる。

答申では、議会に対しては触れない。

「民間の手法」のまま

○コミュニティビジネスの箇所。「民間の手法」は「ビジネスの手法」の方がいいのではないかと。

会長；地域住民の課題を、地域住民が解決していくということを念頭において、民間の手法とした。

○第二の交付金の箇所。「プレゼン方式による…」は、事例紹介はあったが、審議会では踏み込んだ議論をしていない。コミュニティ関係者はプレゼンに慣れていない。事業の必要性ではなく、プレゼンの上手下手で左右される可能性がある。今回の答申で、ここまでプレゼンまで踏み込んでいいのか。

○事業費枠を拡大するという意見は多かった。競争型のプレゼンは主流になりつつあるが、具体的にプレゼン方式とするかどうか。ひとつの手法ではある。正副会長の意図に任せるか。

会長；コミュニティが事業枠を取り合いすることは、理想だとは思う。

○プレゼンによって、コミュニティがやる気を起こすという部分はあるかもしれない。

○将来はあってもいい姿とは思いますが、現時点では事業費の上積みは約束されていないため、事業費枠の獲得とまで書くことはどうか。

会長；ワークショップ審議会でも予算、事業費の話は出た。答申の中に事業費枠どのように織り込むか考えなければならない。

○まちづくり交付金について、「各課の補助金等の発掘に努め…」とあるが、宗像市では既に補助金の見直しをしており、これ以上の発掘はなかなか難しいのではないかと。ここは、正攻法で「交付金総額 1 億円を目指す」のみではどうか。

会長；ご指摘を踏まえて、正副会長で案を練り直す。

「各課の補助金等の発掘に努め」の削除

○人材育成について、今日の WS を踏まえ、「子どもを取り込み」という意味合いを入れてはどうか。

会長；WS でも、子どもとコミュニティの関わりに対する意見が多かった。答申案ではセンターの管理・運営の中で子どもに触れていたが、これだけでは不十分のようだ。答申のどの部分で触れた方がいいのかの意見をください。

○人材育成について、実際には子どもたちとの関わりは多く行っている。ある程度継続的な関わりを持ってもらうことも大切。

「人材育成・人材確保」「自主活動」で記載

○例えば、学校と民生児童委員が繋がっていない、連絡を取り合っていないということを聞いたことがある。行政の仲立ちが必要ではないか。

○「範域」の取り扱いについて。センター整備の関係で、今回、範域は取り上げないとのことですが、例外はあるが、理想としては一つの小学校一つのコミュニティ。例外のコミュニティでは、様々な問題がある以上、今後、どこかのタイミングで取り上げて欲しい。

○池野の自由通学区の問題。池野にとっては大きな問題。通学区は教育委員会が大きな権限。範域は絶対的なものではないので、「見直しもありえる」ということを答申に載せてはどうか。

○池野の小学校とコミュニティの問題は、やむに止まれぬ理由があったため、そうなったのか。

○旧玄海町は、合併時に「当面は4つコミュニティ」となった。当面がいつまでなのかには触れていない。

⇒玄海町との堺に河東西小学校があった。合併前は自治体が違うので通えなかったが、合併後、池野の一部は校区選択性の地域となった。

前文に記載

○範域の問題は、答申の中に入れておくべき。

会長；現在の範域は、固定的なものではない。範域の問題は、将来的な課題であり、見直しが必要であることを認識しておくべき、と答申で触れる。正・副会長でたたき、お諮りします

○まちづくり計画について、「自己評価システムの確立」とあるが、「検討と導入」に留めるべきでは。

○「確立を目指す」という意味だから、「確立」でいいような気がする。

○現場から「評価システムと指標があることにより、活動が縛られてしまう」という意見もあった。副会長；自己評価は行う方向性になっている。財源をもらって事業をやっている以上、評価せざるを得ないのではないか。

⇒市民参画条例の中で、「協議会は自らの活動を評価するよう努める」とあり、市が協議会にお願いしてきた経緯がある。既に評価を行っているところもある。地区ごとに差はあるが、やっていただく方向になっている。3年程前から、監査機能の強化を目的に、監査委員の研修を行っている。

○そういった下地があるのであればよい。

変更なし…「確立」でいく

会長；確立を目指す意味で、「確立」でいく。

○WSの意見を反映させていくのはどうするのか。

会長；その意見をききたいと思う。WSで出た意見をすべて取り入れるわけではない。どの部分を入れるかの意見が欲しい。

○コミセンの管理・運営について。利用料を無料にして、どんどんコミセンを使ってもらう方がコミセンにとっての利用価値があるのではないかと、この意見もあった。「利用料収入の増」を答申としていいのか、の議論が必要か。

○岬では、利用している人は無料の団体が多い。利用料収入は伸びない。50万円上乗せをもらっている。

○高い利料金を払っても人は来る。人が来ないのは事業に魅力がないからという意見が出ていた。内容の充実が必要。

副会長；有料となると担当者が一生懸命にならなる。人が集まらないのは、担当者が一生懸命になっ

ていないからでは。

○会費を払えば（有料は）受ける側も一生懸命になる。

○目指す方向としては、原案通りでいいのでは。

会長；まさしく数量的地域格差の内容。

??

○地域的に恵まれていることを痛感する。

---

会長；地域（自治会）の役員任期については、審議会が指示することではない。

○高齢化。買い物難民。高齢者は振り向いてくれない。敬老会では来てくれるが…。子ども向けはもちろんあっていいが、高齢者に対する取組みも必要ではないか。

副会長；高齢者問題。従来 of 福祉会を中心にした活動になる。

高齢者に触れる。「自主財源・自主活動」と「人材育成・人材確保」で。

---

会長；以上の議論を踏まえて、原案にもう一度手を入れて、再提案します。

今後のスケジュール確認

7月いっぱい手直し。

8月1日から盆前で文書等でのやり取り。10.5回目審議会があるとすれば、この頃です。

8月18日16:00が答申です。※答申の後は、懇親会予定。